



NO.16 平成31年4月1日

かけはし

編集

(広報委員会)

渡辺、石井、菊川、
原口、赤池、佐藤、八巻

事務局

所沢市こども未来部

青少年課

TEL 2998-9103



未来にむけて
☆スポーツの2019&2020! がんばれニッポン!!



ラグビー「2019」

平成が終わりを告げようとしている今年「2019」は、ラグビーワールドカップブイヤー。埼玉県も、ラグビー自治体として知名度の高い熊谷市では、残念ながら日本代表の試合はないものの3試合が予定されていて、大きな盛り上がりを見せている。まさに「がんばれニッポン」である。

次は東京「2020」

そして来年「2020」は、東京オリンピック・パラリンピックイヤー。大会誘致やポスターの盗用、国立競技場の設計変更、多額な施設建設費用などなど新聞紙面やマスコミを騒がせていたものの、関連施設の完成も間近でとうとう動き出し始めたとうとう動湧いてきた。そんな中で、

スポーツの今

池江璃花子選手の白血病報道は衝撃であり、一日も早い全快と復帰を誰もが願わずにはいられない。



年明け早々の1月2・3日箱根駅伝のテレビ画面に釘付けだった方も多いはず。駅伝のみならず、スポーツは夢や希望、そして感動を与えてくれるもの。東海、東洋、青山学院をはじめ参加各大学のその頑張りに敬意を表したい。

近年のスポーツ現場では、AIの登場で、体操やフィギュアスケートといった採点競技では画期的で公平公正な採点システムとなった。科学的・医学的な指導方法の確立や、ITを駆使したデータ分析解析も著しく、スポーツの現場が変わりつつあるが、一方では、対応

スポーツ観戦のワンポイントとは?

の遅れや古い因習からか、「根性論」に囚われがちな競技団体も見受けられるのも現実。また近年、国際的に強さの際立つ卓球、テニス、バドミントンなどでは、アスリートのプロ化が進む中、勝つためのスポーツの迫りがあるのもまた現実である。

ここで「お願い」と、スポーツ観戦アドバイス。大会に出場する選手たちは、ラッキーなだけでなく、与えられた環境の中で最大な努力と過酷な練習を重ね、その権利を手に入れて競技会に参加して来ている。勝敗のいかにかわからず称賛と最大の敬意を表してほしいものだ。

観戦にあたっては、「競技」を知る、「選手」を知る、「チーム」を知る、そしてその「国」を知ることでもっともつと観戦が楽しく興味深いものになるはずである。

希望強く

最後に、所沢ゆかりのある大学の陸上長距離アスリートが卒業にあたり後輩に残した言葉がここにある、「希望 強く」である。彼はこの春から実業団のランナーとして走り始めている。若者の希望と頑張りを応援することは、決してスポーツシーンだけでなく「全て」に言えることで、そのような社会を築く責任が「2019」「2020」にあると強く思うものである。(石井)



市内で開催された大学陸上競技会にて

地区だより
新所沢地区

新所沢地区は新所沢駅西口方面の便利な地域で、公園やマンションが多く建つ住宅街。清進・北小学校があります。

青少年守る会連合会と協力し、パトロールや行事のスタッフとして、子どもたちの健全育成に携わっています。

主なものは「中央公園 夏祭りパトロール」「新所沢西地区こども音楽祭」夏期・冬期パトロール」ほか「新所沢地区運動会」の係や、新所沢まちづくりセンターで文化祭のお手伝いなどです。

1月19日に行われた「こども音楽祭」では、9組の参加者が合唱や楽器演奏、ダンスなどを発表し、楽しい時間を過ごしました。

今後も、育成推進員として、子どもたちが安心して育っていけるよう、より良い活動をしていきたいと思えます。(野島)



「こども音楽祭」にて参加者へお土産を渡す様子

平成30年度

活動アピール

◆青少年の非行・被害防止

(7月) / 健全育成(11月) 街頭啓発キャンペーンに協力

次代を担う青少年が、心身に健やかに成長することを願い、7月14日並びに11月10日に、プロペ通り周辺で啓発活動が行われ、当協議会、中学生のジュニア推進員も運営協力をしました。(所沢市・青少年育成所沢市民会議 共催)



参加者の様子 (7月 開会式)

◆研修会

日本ガーディアン・エンジニアズ(GA) 所沢支部

6月16日から7月7日にかけて、GAの方々のご協力により、所沢駅周辺でパトロール研修を行いました。パトロール時の留意点を始めとし、街の移り変わりについても学び、貴重な時間となりました。

◆視察研修

「つくばエキスポセンター」

11月20日には、視察研修に参加しました。(茨城県)

「見て・触れて・楽しんで」学べる展示場や、38万個の星が見られるという、世界最大級 直径25.6mのプラネタリウムなどを見学しました。机上や画面上での学習が多い現代だからこそ、自身の身体全体を使って学ぶことの有用性を感じた一日でした。(青少年育成所沢市民会議 主催)

◆家庭の日推進事業

青少年・明日へのメッセージ 優秀作文表彰式に協力



集合写真(入賞者・来賓・主催者)

青少年が日頃考えている夢・希望・家族についての作文を募集後、優秀作文の表彰式が平成31年2月9日に新所沢まちづくりセンターで開

催されました。当協議会、中学生のジュニア推進員も運営に協力しました。(所沢市・青少年育成所沢市民会議 共催)



ジュニア推進員

応募数751点(小学生152点・中学生599点)の中から特選6名、金賞10名、銀賞15名が表彰されました。

本の紹介

今回は、人は見た目では分からない悩みをもっている、というお話を2つ。

絵本『おしっこちよっぴりもれたろう』(PHP研究所) ヨシタケシンスケ作



ヒットを連発しているヨシタケ シンスケさんの一冊。ちよっぴりもらしたパンツを乾かそうと外を歩いていると、あっちにも、こっちにも困っている人がいる。あるあるとうなずいたり、くすつと笑える話がいっぱい。もう一冊は、

『14歳、明日の時間割』 (小学館) 鈴木るりか 作



誰にでも悩みはある。14歳、悩み多き年頃だ。なんだと思うことから、自力では解決できないことも。そんなクラスメイトのエピソードを時間割ごとに紹介。(菊川)

編集後記

登校時の立降パトロールをして13年。日々、子どもたちと笑顔でアイサツしているのが健康で活動できる要因かな。まだまだ寒い日が続くけど春はすぐそこ、さあ、今日も、明日も子どもたちと元気にがんばっていこう。(八巻)